

人・農地プラン実質化の取組事例

地域名	取組のポイント	関係資料 ページ
岩手県 花巻市	市は、農家向けの説明資料の中で、実質化に向けたスケジュールと関係機関の役割を具体的に提示。	P1～4
長野県 松川町 増野地区	平成30年に、増野地区をモデル地区として、地域の農業者と関係機関による推進体制の下、アンケート、地図作成、座談会を実施。この取組を通じて増野地区では共同作業の取組が始まった。	P5～24
岐阜県 大垣市	人・農地プランの取組が地区によって温度差があるため、農業委員・推進委員や農事改良組合長など地域の農業者が主体となって人・農地プランの取組を行う組織を市内20地区（JA支店単位）で設置。農業委員会、市農林課、JAが、円滑な組織運営をサポート。	P25～27
奈良県 大和郡山市 上三橋地区	集落内で人・農地プランの詳細な説明を根気よく実施し、話合いの気運を醸成。集落の話合いでは、関係あること、ないこと、何でも発言してもらい、集落の思いを取りまとめた。	P28～32
島根県 江津市	市、農業委員会、農地バンクが推進チームを立ち上げ、実質化の進め方に関する基本方針を定め、集落代表者、農業委員・推進委員を対象とした説明会を開催。その後、推進チームと集落代表者による集落の話合いやアンケート実施に向けた作戦会議を実施。	P33～48
岡山県 備中県民局 管内	備中県民局は、人・農地プランの実質化と農地中間管理事業の推進モデル、具体的な進め方、地図化のイメージなどを示し、実質化の取組の浸透を図っている。	P49～53
大分県 日田市 女子畑地区	地区内農地の保全や利用調整を行う「女子畑地区保全組合」が、グラフや農地利用図により地区の現状を説明しながら、品目毎の団地化構想に対する賛否、貸付農地の貸付先の変更の可否等の意向を問うアンケートを実施。	P54～58
沖縄県 久米島町	アンケートの回収率を高めるため、JAが各地区で行うさとうきび交付金申請手続の会場で、地区を担当する農業委員・推進委員が営農意向調査を実施。さとうきび農家以外の農家には、農業委員・推進委員が戸別訪問により営農意向調査を実施。	P59～62

農地中間管理機構法見直しに伴う 「人・農地プランの実質化」について

花巻市農政課

概要

農地中間管理事業がスタートして5年目の区切りを迎えたことから、事業を一層推進すべく国により制度が見直されました。

【主な見直し点】

- ① 地域農業マスタープラン（人・農地プラン）の実質化
- ② 農地中間管理機構の手続き簡素化
- ③ 農地利用集積円滑化事業と農地中間管理機構の統合
- ④ 機構集積協力金の単価等の変更

人・農地プランの実質化とは

これまで花巻市の農業者の皆さんには、地域での話し合いにより、ほ場整備、機械・施設の導入、地域の共同活動などに取り組み、地域の農業・農地を守り、発展していただきました。

一方で、地域により話し合いの内容に差が出てきている現状でもあります。

人・農地プランの実質化とは、地域の農業・農地をしっかりと守るべく、地域の話し合いにもう一度イチから取り組むことを言います。



プランの実質化に取り組まないと・・・

以下の補助事業の採択対象から外れたり、採択されにくくなります。

- ・ 機構集積協力金
- ・ 強い農業・担い手づくり総合支援交付金
- ・ 農業次世代人材投資事業
- ・ 担い手経営発展支援金融対策事業
- ・ 農業経営基盤強化資金利子助成金等交付事業



自分の地域を実質化させるには・・・（裏面へ）

実質化するには

既に、地区内の相当部分（50%以上）の農地の出し手と受け手が特定されている場合は、実質化とみなすことができます。

実質化されていない地域は、

① アンケート調査の実施



② 地図の作成



③ 地域での話し合い

年代分布や後継者の有無、農地の貸付意向等をアンケートで調査。調査結果を地図に反映。作成した地図は、地域での話し合いの際の参考に用いる。

以上のことを行い、話し合いの結果として、5～10年後に農地を担う人を中心経営体として決定する必要があります。

①のアンケート、②の地図の作成は、市役所、農業委員会、農協等の関係機関で行います。③の地域での話し合いについても、農業委員会、農協、市役所等が参加し、お手伝いさせていただきます。

なお、この実質化に向けた取り組みは **令和2年度内まで** を目途に行うこととされています。

既存プランの実質化の判断方法

以下の計算式により、既に実質化されている地域か否かを判定します。（※各地域の判定結果は別紙のとおり）

計算式

$$\frac{\text{①近い将来の農地の受け手の現状経営面積} + \text{②近い将来の農地の出し手の貸付予定面積}}{\text{対象地区内の農地面積}} > 50\%$$

※既存プランの「中心経営体」を指す

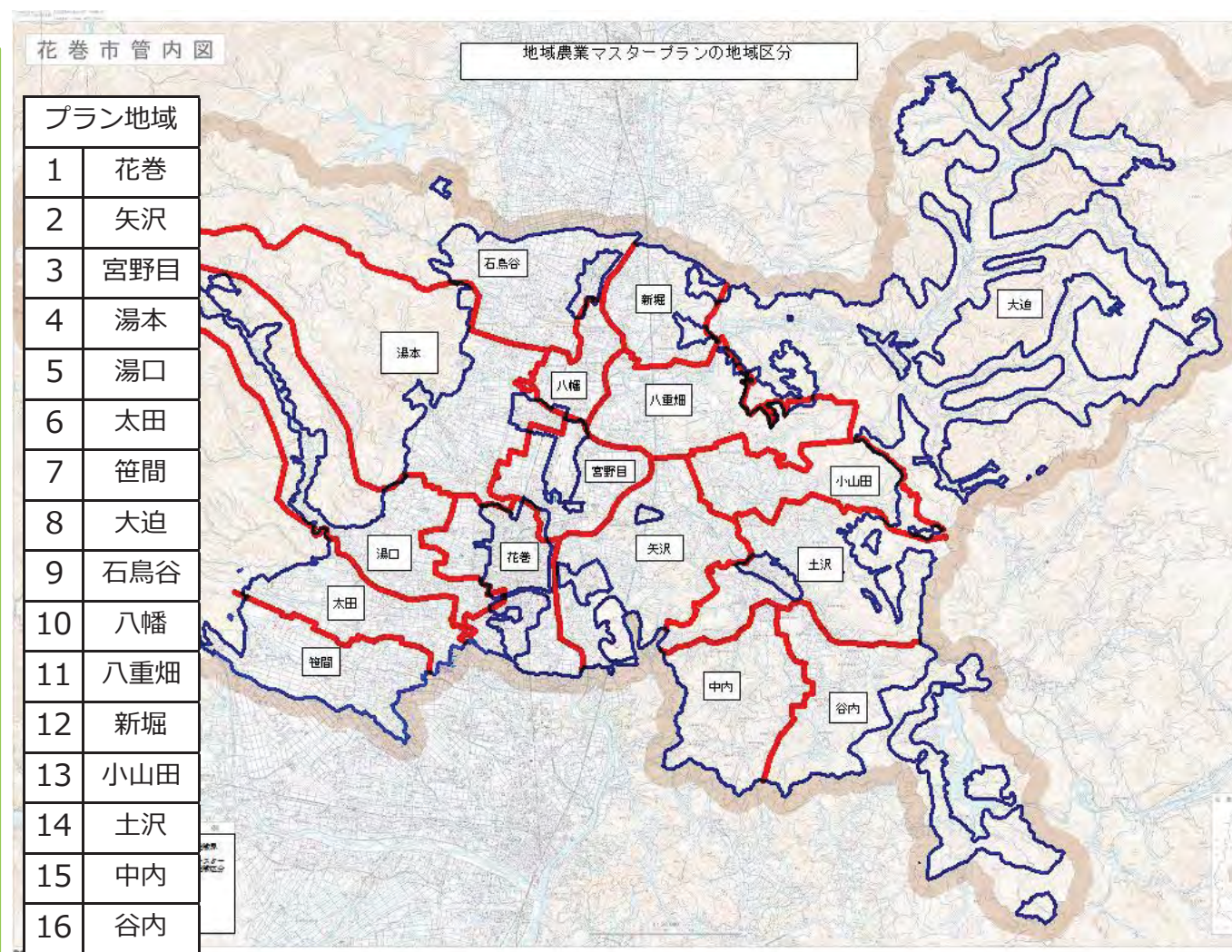
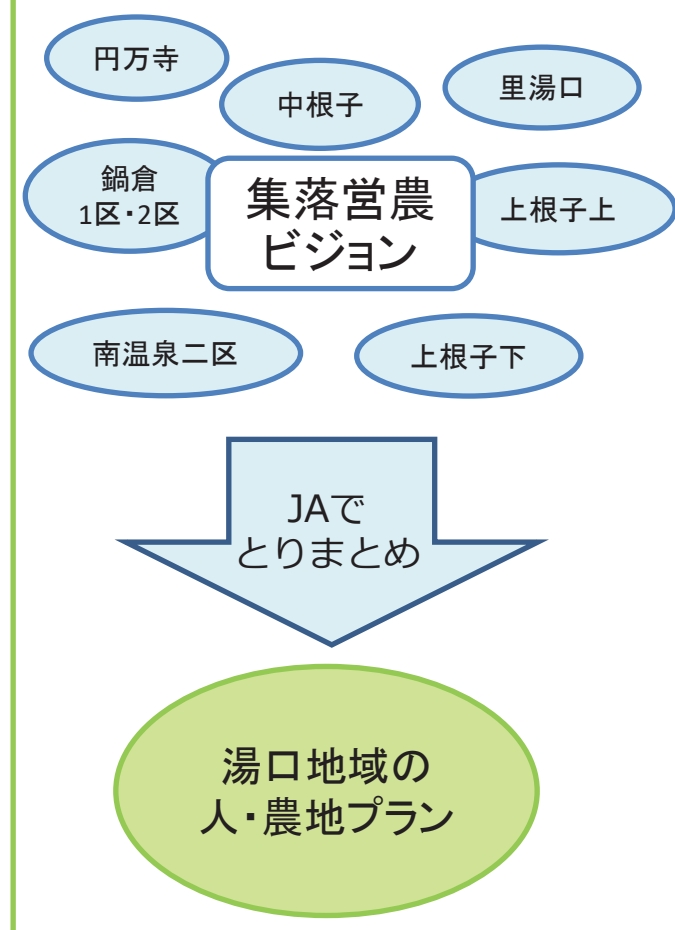
人・農地プランの実質化に向けたスケジュール・役割分担（案）

業務内容		主担当	副担当
既存 の判 断 プ ラン プ ラ ン の 実 質 化 3・4・5 実質化に必須	1 実質化の判断 ↓ 実質化YES ↓ 公表	市	JA 農業委員会
	↓ 実質化NO ↓ ↓ ↓		
	2 実質化に向けた取り組み		
	① 工程表案の作成 ※8月23日（金）まで	市	JA 農業委員会
	② 地区状況表の作成 ※8月23日（金）まで	市	JA 農業委員会
	③ 工程表の公表 ※9月30日（月）まで	市	JA 農業委員会
	↓		
	3 アンケートの実施		
	④ アンケートの作成	農業委員会	市 JA
	⑤ アンケートの実施（回収）	農業委員 最適化推進委員	市公社 JA
	⑥ アンケートの取りまとめ	農業委員会	市 JA
	↓		
	4 地図による現状把握		
	⑦ 地図の作成	市	JA 農業委員会
	↓		
	5 地域での話し合い		
	⑧ 話し合いの場の設定	JA	農業委員会
	⑨ 話し合いへの参画 ※全関係機関で対応	市・市公社・JA・農業委員会 農業委員・最適化推進委員 等	
	⑩ 結果の取りまとめ・公表 ※2020年（令和2年）度内	市	農業委員会 JA
の プ ラ ン の 実 践	6 プランの実践 ⑪ 農地中間管理事業の推進	市公社 （県公社）	市 農業委員会 JA

1. 花巻市における「人・農地プラン」の作成状況

- 花巻市には農家組合（集落）単位で作成している**154**の「集落営農ビジョン」が存在。
- その集落営農ビジョンをJAの支店単位で取りまとめ、現在花巻市には、**16**の「人・農地プラン」が存在。

【例】湯口地域の場合



人・農地プランの実質化に向けた 関係機関の取り組みについて

(令和元年6月27日現在)

～ 松川町増野地区への取り組み事例 ～

南信州農業改良普及センター

松川町と増野地区の紹介

- 松川町データ
- 増野地区データ



松川町のデータ



松川町 前河原地域

町は長野県南部の下伊那郡の最北、伊那谷のほぼ中央に位置し、東西21km、南北約6kmで、総面積72.79km²となっている。

町の中央を天竜川が北から南へ流れ、川の東西に段丘が形成され、東側には工業団地と水田地帯が、傾斜地では、水稻、畜産、小梅の栽培などが行われている。西側は、住宅地、商店街、工業団地が開け、梨、りんごなどの果樹栽培が盛んである。

松川町のデータ

総人口・・・・・・・・12,718人 *1
世帯数・・・・・・・・4,434世帯 *1
農業就業人口・・・1,459人 *2
農地面積・・・・・・・・1,384ha *3
農振農用地・・・・・ 943ha *4
遊休農地面積・・・ 235.5ha *3
経営農地面積・・・ 748a *2

*1松川町調査数字(2019年5月1日現在)

*2 農林業センサス(2015年)

*3 松川町農業委員会による利用状況調査(2018年11月)

*4 松川町集計(2019年2月7日許可最終)



松川町と増野地区の紹介

- 松川町データ

- 増野地区データ



増野地区データ

世帯数・・・・・・・・53戸
うち農地を所有戸数・・・・45戸
農業法人・・・・・・・・4法人＋α
専業農家数・・・・・・戸
うち果樹農家比率・・・82%
60・70代の農業経営者・・概ね65%
認定農業者数・・・・・・15人
不耕作農地・・・・・・・・3.4%



増野地区の状況



増野地区の様子

増野地区は、松川町の西側斜面の高地に位置し、標高600mから800mの東向きの土地。

土壌は、水はけの良い土地で、気温の日較差により、果実の着色も良好で、味もよく、果樹栽培に適している。

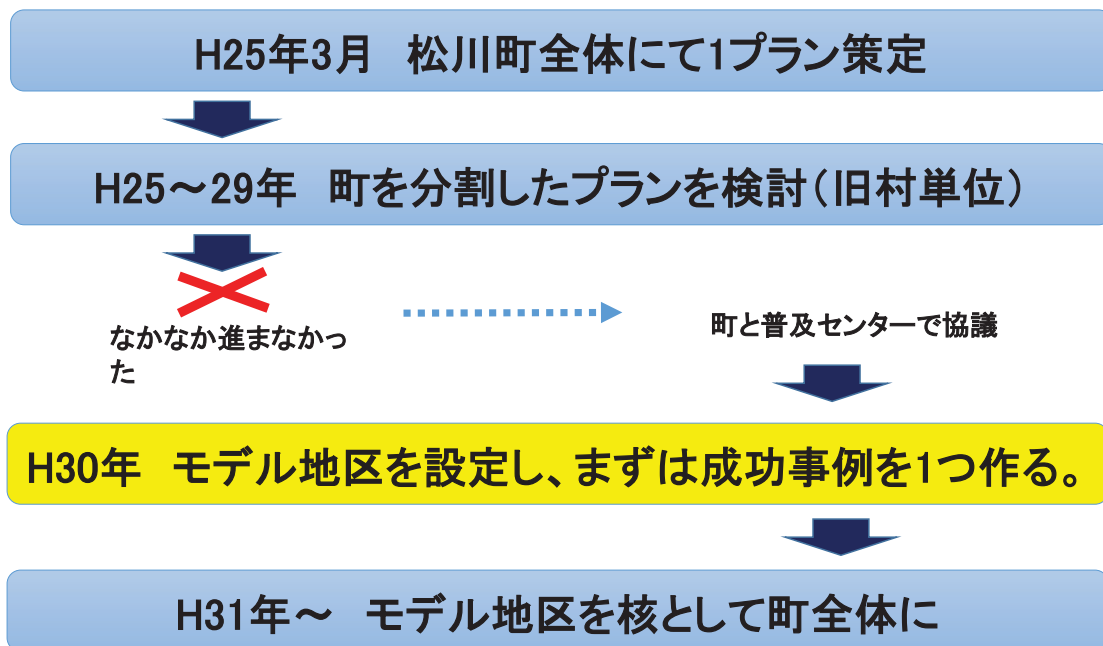
地域には中心的な経営体と成り得る法人組織や40代以下の専業農家もあることから、遊休農地は少ない。

しかし、近い将来には、規模縮小や経営転換、引退等を検討する可能性がある農家が増えると考えられた。

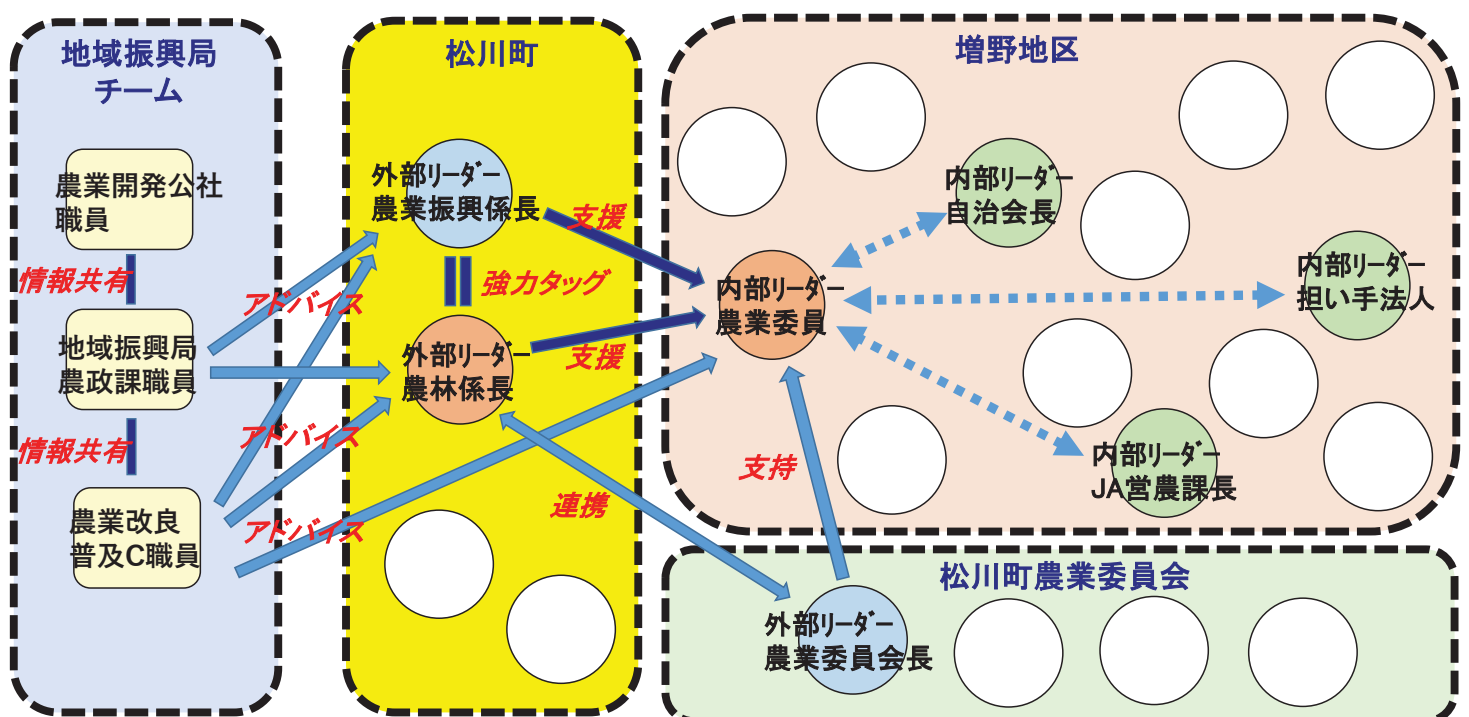
それぞれの機関・組織の取り組み

- 松川町の取り組み
- 松川町農業委員会の取り組み
- 地域振興局チームの取り組み
- 増野地区の取り組み

松川町の取り組み



増野地区に対する人・農地プランの推進体制



それぞれの機関・組織の取り組み

- 松川町の取り組み

- 松川町農業委員会の取り組み

- 南信州地域振興局支援チームの取り組み

- 増野地区の取り組み

松川町農業委員会の概要

◆【任期】平成28年12月16日～令和元年12月15日

◆【委員数】農業委員11名

農地利用最適化推進員5名

◆【会議等】毎月下旬に総会を開催し、

総会終了後に地域振興や遊休荒廃地対策
や懸案事項の協議を行っている。



松川町農業委員会の取り組み

「人・農地プラン 地域プラン策定に向けて」推進方針の検討 (H30/6/25)

農業委員及び農地流動化推進員



地域農業の将来(人と農地の問題)に関するアンケートの検討 (H30/8/23)

松川町モデル地区の選定

農業委員及び農地流動化推進員



定例委員会にて人・農地プラン座談会の情報共有

(H30/9/25・10/26・12/19・H31/3/22)

増野地区選出農業委員よりの報告

農業振興地域整備促進協議会にて人・農地プラン座談会の情報共有

(H30/11/22)

増野地区選出より農業委員よりの報告

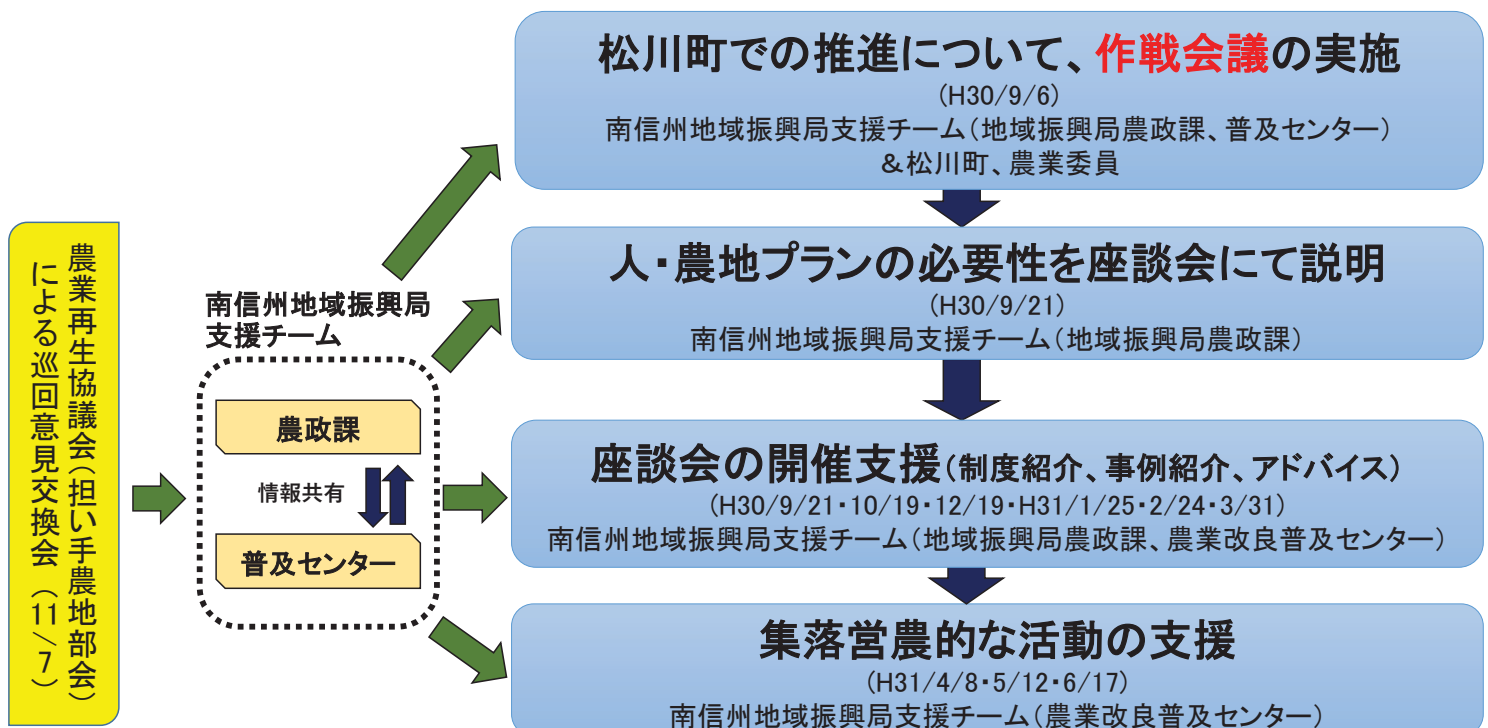
松川町の取り組み



それぞれの機関・組織の取り組み

- 松川町の取り組み
- 松川町農業委員会の取り組み
- 南信州地域振興局支援チームの取り組み
- 増野地区の取り組み

南信州地域振興局支援チームの取り組み



それぞれの機関・組織の取り組み

- 松川町の取り組み
- 松川町農業委員会の取り組み
- 南信州地域振興局支援チームの取り組み
- 増野地区の取り組み

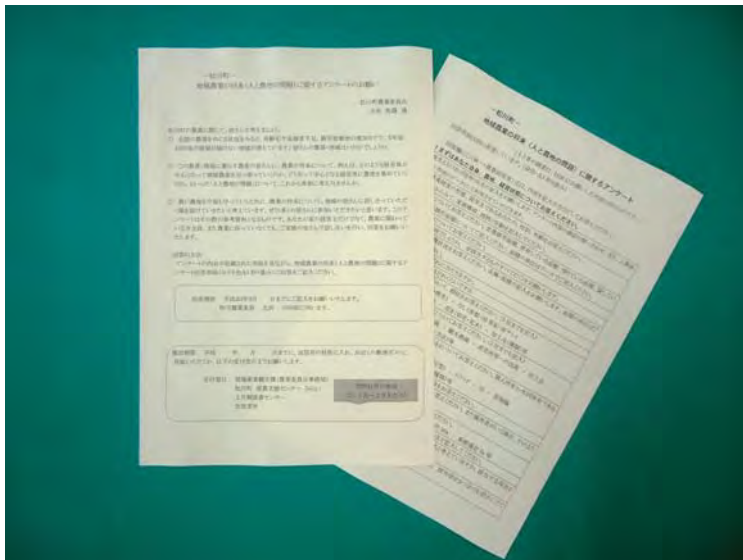
増野地区の取り組み

実質化の要件に沿って話をする・・・

- (1) 全戸アンケートの実施
- (2) 増野の現況把握
- (3) 中心経営体への農地の集約化に関する将来方針



(1) アンケートの実施



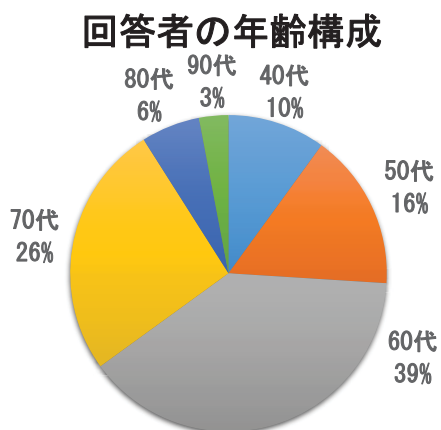
松川町農業委員会から出されたアンケートのお願いチラシ



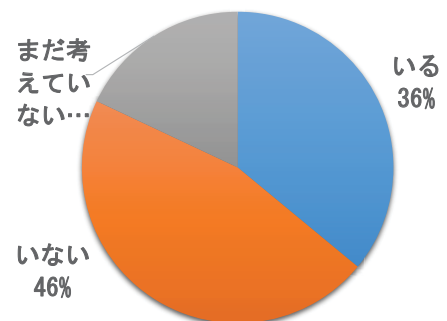
地元農業委員さんが全戸配布とお願い

(1) アンケートの実施

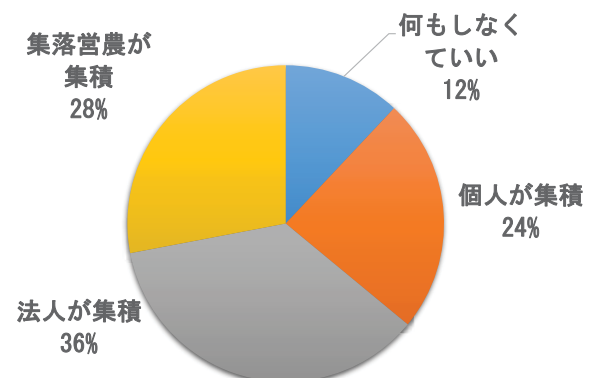
- 対象配布数 45件
- 回答者数 35件（回答率78%）



将来の後継者の有無



地域の農業を持続可能にするには



アンケート結果から見えてきた課題

- ◆ 若者が帰ってきたい、老いても楽しい、魅力ある増野の農業とは
- ◆ 増野の農業、分業（販売・生産・加工・民泊）で産業化をめざす
- ◆ 増野で人や農地の問題が起きた時に、解決できる組織が必要か
- ◆ 増野地域で栽培、次世代に期待される農作物とは？

増野地区の取り組み

実質化の要件に沿って話をする...

(1) 全戸アンケートの実施

(2) 増野の現況把握

(3) 中心経営体への農地の集約化に関する将来方針



地図へのプロット



農業法人・40歳以下の後継者がいる経営



遊休荒廃地

(2) 増野の現況把握



地図で確認する増野地区の皆さん

経営戦略策定手法で、現状把握と次なる1手

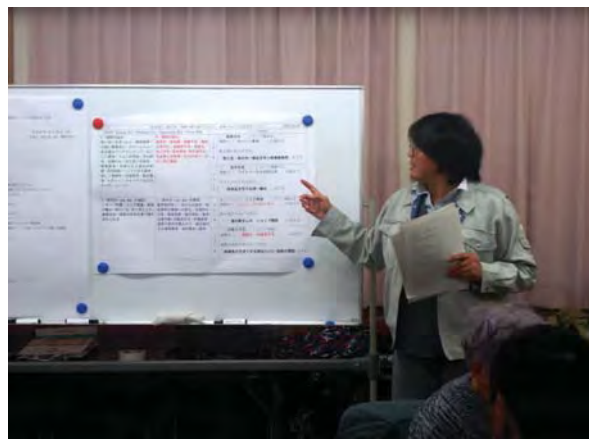
• SWOT分析、クロスSWOTの実施

①グループ

「50年後も100年後も 増野が輝き続けるため できることは」

②グループ

「あったらいいな地域のみんな&増野ファンが楽しめるアツと驚く収穫祭」



主導的に働きかける松川町の宮島係長

経営戦略策定手法で
増野への理解が深まった

SWOT分析

		プラス要因	マイナス要因
内部要因	内部要因	S···· Strength (強み) 目標達成のためにプラスに働く 自分(自社・地域)の要因	W···· Weakness (弱み) 目標達成に対してマイナスに働く 自分(自社・地域)の要因
	外部要因	O···· Opportunity (機会) 目標達成にプラスに働く 外部の要因	T···· Threat (脅威) 目標達成にマイナスに働く 外部の要因

クロスSWOT

①強みと機会

強みを活かし機会を攻略する戦略を考える($O \rightarrow S$)

「O」という機会を「S」の強みで、「〇〇〇」をする。

②強みと脅威

強みを活かし脅威に対抗する($T \rightarrow S$)

「T」という脅威でも「S」の強みで、チャンスに変えるために「〇〇〇」をする。

③弱みと機会

強みを活かし機会を攻略する($T \rightarrow W$)

せっかくの「T」という機会を「W」の弱みで、取り逃さないためにも「〇〇〇」をする。

④弱みと脅威

弱みを克服し機会を攻略する($O \rightarrow W$)

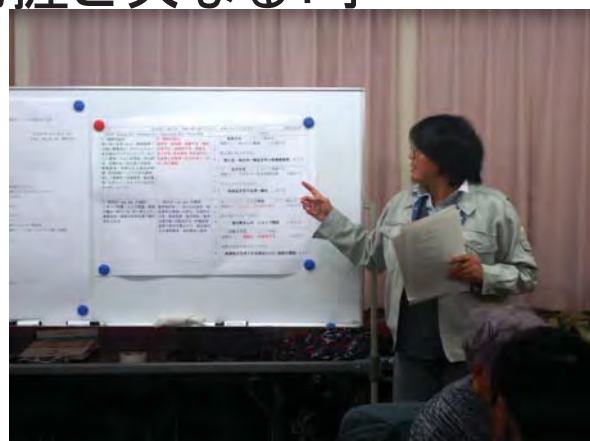
「T」という脅威を「W」の弱みで、最悪の状況を招かないように「〇〇〇」をする。

経営戦略策定手法で、現状把握と次なる1手

• ブレインストーミングと KJ法の実施

①②グループ

「増野の遊休地で作る、農業を継続
させるための農作物」



主導的に働きかける松川町の宮島係長

経営戦略策定手法で
増野への理解が深まった

ブレインストーミングとKJ法で意見の収束



グループ毎の発表会



出された意見をポストイットで書き込み

増野地区の取り組み

実質化の要件に沿って話をする...

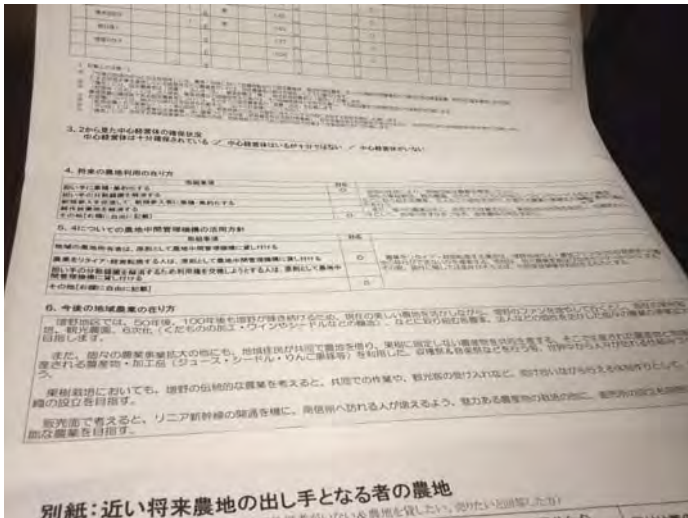
(1) 全戸アンケートの実施

(2) 増野の現況把握

(3) 中心経営体への農地の
集約化に関する将来方針



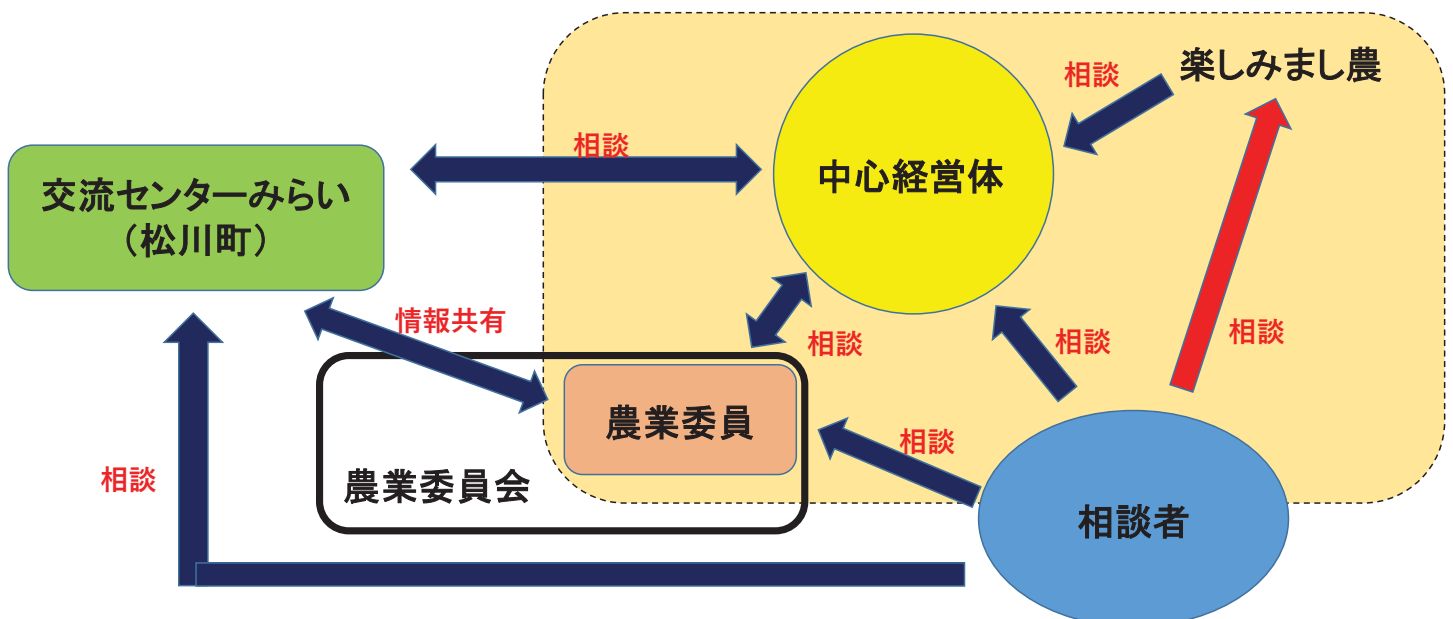
③中心経営体への農地の集約化に関する 将来方針の作成



増野地区 人・農地プラン

- 農業をリタイア・経営転換をする場合は、増野地域の人農地プラン内の中心経営体への農地の移行ができないかを模索する。
- 相談は地元農業委員及び交流センターみらいにする。
- 貸付に関して条件が揃えば、中間管理機構を利用する。

組織が出来たことにより、どこに相談していいか相談してよいか、より鮮明になった

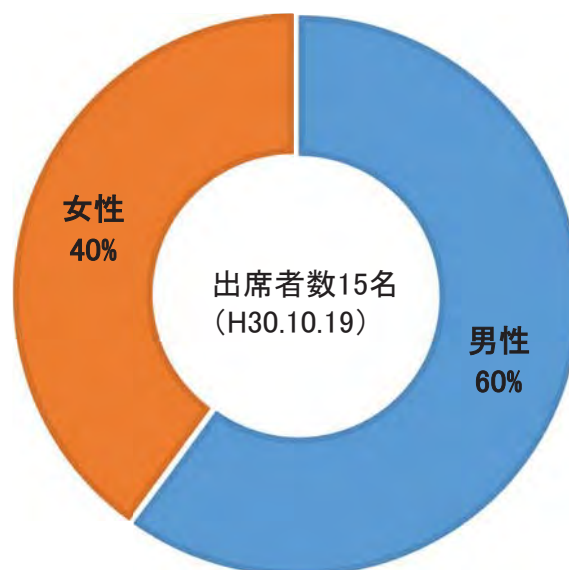


増野地区の座談会の特徴

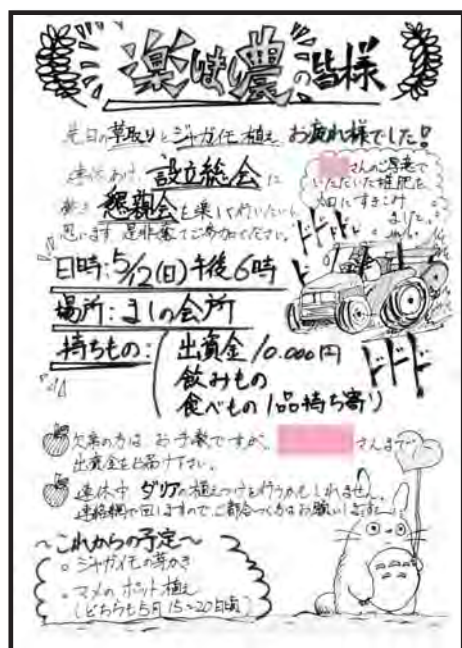
- 話し合いの場に女性の参加が多かった。
- 借り手となる中心経営体(法人)の参加も多かった。
- 様々な年代(20～80代)の方の参加が見られた。
- プランありきではなく、じっくり増野地区をどうしていくかを話し合うことが出来た。
- 中心経営体でも受けられない耕作放棄地をどうしていくかという話し合いも行われた。
- 「増野でイベントをやろう」と常に明るい雰囲気だった。
- 完璧なプランを作り上げるのではなく、次年度に見直しをすればよいと柔軟に取り組んでいる。

増野の方針を決める場に、女性の比率が高かった

座談会へ参加した増野地区の皆さんの男女比率



増野地区内での情報の共有



20代の農業後継者が作成配布

集落営農活動の芽生え「楽しみまし農」

R1.5.12 楽しみまし野共同作業

座談会から生まれた活動

R1.4.8 楽しみまし野共同作業



集落営農活動の芽生え「楽しみまし農」



R1.6.17楽しみまし野共同作業



共同作業時の増野地区での皆さんの声

- 作業が楽しい。我が家は果樹園なので、畑作業は新鮮だ。
- この地区でも、若い人と話をする機会がないから、共同作業で若い人と話が出来て、うれしい。
- 我が家の品目と違う畑作業は、面白い。
- こんな所に、遊休荒廃地がある事を知らなかった。
- 出来た作物で、お祭りが出来たらいいなあ。
- 毎回たくさんの人が集まってくれて、いいね。
- みんなの力を合わせると、たちまち草取りも終わるね。

他の地区への「人・農地プラン」取り組みの波及



R1.5.16 大沢北部・南部地区座談会



R1.6.14 大沢北部・南部地区座談会

ご清聴、ありがとうございました



増野地区の「楽しみまし農」の皆さん